

日本セラミックス協会理工系人材育成活動助成金 活動報告書

佐賀県立有田工業高等学校 セラミック科展 Saga Prefectural Arita Technical Senior High School Exhibition of Ceramic Department

(佐賀県立有田工業高等学校) 速見 豪
(Saga Prefectural Arita Technical Senior High School) Hayami, Takeshi

実施日	2022 年 8 月 27 日、28 日	Date	August 27&28, 2022
実施場所	博多阪急(7 階イベントホール「ミューズ」)	Place	Hakata Hankyu (7F Event Hall “Muse”)
住所	福岡県福岡市博多区	Address	Hakata-Ku, Fukuoka City, Fukuoka Pref
主催	株式会社 阪急阪神百貨店 博多阪急 佐賀県立有田工業高等学校	Organizer	Co., LTD Hankyu Hanshin Depaetment Store, Hakata Hankyu Saga Prefectural Arita Technical Senior High School

2022年8月27日(土)、8月28日(日)の2日間、「佐賀県立有田工業高等学校セラミック科展」を博多阪急7階イベントホール「ミューズ」で開催した。主催は博多阪急と本校である。また、公益社団法人日本セラミックス協会教育委員会から協力をいただいた。

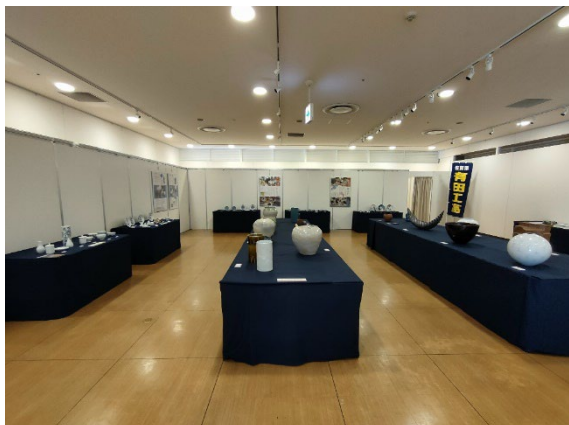
本展を福岡県での開催する目的は、隣県で交流人口も多い福岡の地で、九州唯一の学科である本校セラミック科の活動内容を広く知っていただくためである。

博多阪急でのセラミック科展は、2017年、2018年、2019年と3年連続で開催していたが、近年コロナ禍で開催を見送っており、今年度、2年ぶり4回目の開催となった。展覧会の内容は、授業作品の展示と体験コーナーが主である。展示関係では、授業で制作した陶磁器作品85点(全日制生徒作品55点・定時制生徒作品19点、聴講生作品11点)、展示パネル(セラミック科紹介4枚、セラミック科の特徴的な取組の紹介2枚、聴講生紹介1枚、ファインセラミックス関係課題研究の紹介(「人工ルビーの制作」1枚、「畜光釉の研究」1枚、「ファインセラミック素材を用いたライントレーサー」))を展示した。また、セラミック科の概要がわかる動画も作品展示会場内のモニターで放映した。体験コーナーでは、ろくろ体験と下絵付け体験を実施した。

絵付け体験(湯呑への絵付け)の数は、1日目35個、2日目57個の計92個であった。ろくろ体験をされた方が2日間で約50名であった。展覧会全体での来場者数は、2日間で約200名であった。絵付け体験、ろくろ体験とも子供から大人まで幅広い年代の方々が体験された。絵付け体験では自由な発想で絵付けされた色とりどりの湯呑が完成していた。体験者の絵付け時の集中した表情が印象的であった。ろくろ体験では、磁器土の滑らかな感触を感じながら、手の中で自由に形が変わっていく「ろくろの楽しさ」を感じられている様子であった。なお、絵付けした湯呑は、本校で本焼成をし、後日博多阪急に届け、博多阪急から体験者への受け渡しをしていただいた。

本展を開催したことで、佐賀県内に限らず、広く九州の方々に有田工業高等学校セラミック科の教育活動と、やきものづくりの楽しさ、また、「セラミックスとは何か」について広く知っていただく機会となった。今後もこのようなセラミックに関心を持っていただくための校外活動を継続していきたい。

日本セラミックス協会理工系人材育成活動助成金 活動報告書



会場風景①
Scene①



会場風景②
Scene②



会場風景③
Scene③



絵付け体験コーナー①
Painting section①



絵付け体験コーナー②
Painting section②



ろくろ体験コーナー
Potter's section